

議 事 録

会議名	平成 24 年度第 5 回寒川町外部評価委員会会議		
日 時	平成 24 年 9 月 28 日 (金) 17:00～20:00	開催形態	公開
場 所	寒川町役場東分庁舎 2 階 第 2 会議室		
出席者	委 員：石田晴美、宮内芳明、新木重光、生田忠和、吉田政明 事 務 局：企画政策部行財政改革推進担当 古谷雅洋(専任主幹)、山口真人(主査)、吉田史(主任主事)		
議 題	(1) 議事録承認委員の指名について (2) 評価内容の検討について (3) その他		
決定事項			
議 事	<p>○開会 *委員長あいさつ</p> <p>○議題 〔議事進行：委員長〕</p> <p>(1) 議事録承認委員の指名について 名簿の順により、吉田委員とする。</p> <p>(2) 評価内容の検討について 事務局が作成した『平成 24 年度寒川町外部評価委員会 評価結果報告書(案)』(以下「報告書」と記す。)及び『(別紙)平成 24 年度外部評価委員会 評価結果(案)』(以下「評価別紙」と記す。)をもとに、評価内容等の検討を行った。</p> <p>《配付資料について、事務局から概要を説明》</p> <p>〈委員長〉今回、私たちが審議をしなければいけないのは、まず一番大きいのは、かがみとなる報告書の部分です。結論のあり方がこれで良いかどうか。それを踏まえて、来年度以降に向けて意見として述べたいことなど、一番大事なことをここに盛り込んでいくと良いと思います。本日は素案で構いませんので、その意見を後ほど事務局に文章化してもらうという形になると思います。それが終わりましたら、全部で 12 本ある評価対象ごとの事業の現状・課題、評価結果の検討に移ろうと思います。こちらは、委員各自が書いたものを事務局でまとめていただいているので、内容のよし悪しや加筆の必要性を検討し、最後にヒアリングの概況を確認するという流れで進めたいと思いますが、よろしいですか。</p> <p>《異議なし》</p> <p>〈委員長〉では、まず、かがみとなる報告書の部分についてですが、「4 ヒアリングの実施」までは特に問題はなく、よろしいかと思うのですが、私は 5 番の外部評価の実施について、その区分に非常に違和感があります。事業そのものではなく、実施</p>		

方法がおかしい、実施方法を変更する必要がある、担当者はちょっと考え方を改めて欲しい、というようなことを指摘したい場合において、この区分では表現できない。事業仕分けのように「不要・抜本的見直し・要改善・現行どおり・拡充」とした方がはっきりすると思います。

〈生田委員〉廃止とか中止のイメージもありますよね。

〈委員長〉それは、「不要」にあたります。また、区分の標題についても、「事業規模・方向性」ではなく、「事業の方向性」とした方が良いと思います。「規模を大きくする」というのでは、予算も大きくなるという事だと思いますので。私の提案としては、区分の標題を「事業の方向性」として、分類は「不要・抜本的見直し・要改善・現行どおり・拡充」という5つぐらいの分類にしたいと思うのですが、皆さんいかがでしょうか。

〈生田委員〉現行やっている、継続している事業もありますよね。

〈委員長〉「今のやり方でよろしいですよ。」という時は、「現行どおり」とします。「要改善」というのは、事業をやめろということではなくて、「やり方を考えた方がいいですよ」という意味です。

〈生田委員〉では、事業をやめろという場合は？

〈委員長〉それは「不要」となります。または、不要あるいは廃止という表現でも良いと思いますが。

〈生田委員〉継続している事業ですから、担当者にとってみれば、「何？」ということになりますよね。「中止」なら話わかるけど。

〈委員長〉「不要」という言葉が不穏当であるならば、ここにある「休止・廃止」でももちろん構わないですけど。

〈生田委員〉担当者にとってみれば、「不要」という表現はきついと思うので。「こういう所を改善してくれ」というのはありますよね。だから、具体的に改善点を我々が導き出してあげると、担当者は納得すると思います。

〈委員長〉では、「不要」という表現はちょっと言葉がきついので、「休止・廃止」であとは「抜本的見直し・要改善・現行どおり・拡充」の5つでいかがでしょうか。

〈生田委員〉そうした方が良いと思います。

〈委員長〉そうすると予算額が「増額・現行・減額・なし」の4つなんですが、この4つの区分でよろしいですか。上が5つで下が4つでも別に構わないでしょうか。1:1ではなくなりますが。

〈生田委員〉事務局は構いませんか。

〈事務局〉はい、それは構いません。

〈委員長〉そうすると、※印の注記はいらなくなると思います。それから、これは、かがみとなるサマリーなので、「6 外部評価の結果」を「別紙のとおりである」とするのはいかがなものかと。一昨年度はそうしていたと思うのですが、この12本の結果がどうだったのかということを表にして記載しておいたほうがインパクトがあると思います。そのうえで、細かいものが見たい場合は別紙を、としておいた方が。

〈事務局〉評価別紙の表紙にある結果の表を記載して、※印で詳細は別紙のとおりという形でよろしいですか。

〈委員長〉そのほうが良いと思います。ただ、評価別紙の表紙にも目次として一覧表は残してください。では次に「7 評価結果の事業への反映」ですが、これについては、今回も報告をお願いしますか？一昨年の評価に対しては、町からの報告はあつ

たのでしょうか？

〈副委員長〉ありました。このように反映しましたという結果報告の文書は来ました。〈委員長〉では、今回も同じように報告をお願いします。次に「8 その他意見」ですが、説明責任を徹底して下さいということで、特に「ごみ処理関連事業」と「寒川駅周辺整備事業」が記載されています。これは、あつていいかなと思いますが、いかがですか。

〈副委員長〉これについては、最後に検討する問題だと思います。生田委員からいろいろご注文もありましたし、評価結果の中には入っていない部分や委員会として町長にこれだけは申し伝えましょう、というような最終的合意ができたところで落とし込む、ということで委員長いかがでしょうか。

〈委員長〉では、この8番については最後にということで、分かりました。では、とりあえず7番まではOKということで、個別具体的な案件に入っていきたいと思います。再度確認ですが、評価の区分については、事業の方向性を「抜本的見直し」「要改善」「現行どおり」「拡充」「休止・廃止」としましたので、その言葉をこれからは使っていきたいと思います。

(「3 評価対象事業」の(2)中、「分類」という表記は不適切であるため、「項目」という表記に修正する。)

《事務局が作成した『評価結果(各項目の1枚目)』と『ヒアリング・協議の概要』の案について、その内容を検討・協議し、次のとおり修正・訂正等を行うこととした。》

地震対策事業

【事業の現状・課題】

- * 「災害時の配付方法が明確になっていない」という表現では、配付対象が不明であるため、「各避難所への分配方法」と修正する。
- * 「備蓄目標値の算出根拠が不明確」という部分を、「現行の備蓄目標値は、性質や規模が全く違う資機材を全て足したうえで達成率を示すなど、適切でない」と修正する。
- * 「非常時における実践的な行動計画や訓練が不十分」という表現では抽象的であるため、「自主防災組織ごとの地域事情に応じた具体的・実践的な行動計画や訓練が不十分」という表現に修正する。
- * 主の課題とそこから派生する課題が並列に表記されているため、内容を整理し、重要度と段階を明確にした表記となるよう修正する。また、本欄と下の評価結果欄の内容が対応するように修正する。(以後の各項目についても同様に。)

【評価結果】

- * 事業の方向性については、防災は非常に大事な事業であるが、現在の進め方ではその方向性がずれている、詳細な検討が不十分であると思われるため、「進め方の検討・工夫をしてほしい」「きめ細かく進めてほしい」という担当部署への反省を促す意味から、要改善とする。
- * 町民の防災意識を高めることに関し、担当部署が行うべきこととして「町民の備蓄率を把握し、公表する」という内容を加える。
- * 寒川町の実状に応じた計画が必要であるという観点から、「東日本大震災の教訓を踏まえ」という部分を削除する。
- * 予算額については増額とするが、備蓄資機材等を購入するための増額ではなく、

きめ細かいマニュアル・計画を作成するための増額(作成に係る人員増を含む。)である旨を表記する。

*備蓄については、現時点での備蓄量が妥当であるかが不明であり、予算額上の議論が不可能であることから、現在の表記は削る。

教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校)

【事業の現状・課題】

*教員の ICT 活用力が低い現状を明確化するため、20 ページの資料を文章中に引用として表記する。

【評価結果】

*本事業については、PC の整備というハード面では近隣市町に比べて進んでいるが、PC 教室の稼働率や授業での使用率が著しく低く、教員の ICT 活用力も全国平均を下回っている状況である。ソフト面での事業展開に重点を置く必要があることから、事業の方向性については抜本的見直しとする。

*「教育の中身の充実」という表現では抽象的であるため、魅力的な授業展開や教員の ICT 活用力の向上についての具体的な表現を盛り込むとともに、教育委員会の積極的な指導・支援の必要性についても表記する。

【その他】

*20 ページの資料に出典と評価の時点を明記する。

クリーンエネルギーの有効活用事業

【事業の現状・課題】

*「住宅用太陽光発電システム設置補助に対する町民ニーズが高い」という表記のみでは不十分であるため、予算枠を超えた時点で申請受付を打ち切っているためそのニーズに応え切れていないという表現を加える。

*啓発活動を充実させることで十分であるという点から、「町施設で太陽光発電システムを採用するなど、町として取り組む姿勢を示すことが啓発の一環となり得るのでは。」という表記を削る。

【評価結果】

*事業の方向性については、本委員会の評価結果としては拡充とするが、廃止すべきという反対意見があるため、それについては枠外に記載する。

*「限りある資源の有効活用のため」という表現は不適切であるため、「限りある資源のため」に訂正する。

ICT活用事業

【評価結果】

*事業の方向性については、セキュリティポリシー未整備などの問題点はあるが、必要不可欠な事業であり、事業の進め方も概ね良好であることから、現行どおりとする。ただし、少しでも安価に済むような努力を望む旨を表記する。

*セキュリティポリシーに関する表記について、その重要性から上位にあげるとともに、外部・内部監査と併せて、適切な実施計画を策定すべきという表現を加える。

*事業の現状・課題欄に公共施設利用予約システムに関する表記があり、また、本システムは効果的な運用が望まれるものであるため、「利便性の向上のために拡

充を検討されたい」という表記を加える。

コンピュータ利用事業

修正、訂正等、特になし。

寒川駅周辺整備事務所維持管理経費・土地区画整理事業事務経費・駅周辺公園管理経費・土地区画整理審議会関係経費

【評価結果】

- *本項目に関し、区画整理事業全体で捉えた場合には、積極的に進めるべきものであるが、進捗状況が97%という現状を鑑みた場合、事務所の維持管理等に係る経費や人員配置の観点からは現状を維持する必要がないと思われるため、事業の方向性については要改善とする。
- *4経費を1項目としているため、表記方法を分かりやすいように工夫する。

【その他】

- *事業途中で事務所を移転することについて、法的に問題がないかどうか、次回までに事務局が確認しておくこととする。

施設維持管理経費(公民館)

【評価結果】

- *公民館の運営については、過去の事業仕分けで非常に厳しい意見を受けたにもかかわらず、真摯に受け止めていない。あり方の検討や修繕計画の策定など、行うべきことが多数あることから、事業の方向性については抜本的見直しとする。
- *公民館のあり方については、ボランティアの活用など地域の実状に応じた方法があり、指定管理者制度のみが検討の対象ではないため、2つ目の◇の後半部分を「指定管理者制度等の導入を視野に入れた」と修正する。

じん芥処理事務経費

【評価結果】

- *今回の外部評価の対象は、ごみ処理の全体像ではなく、不燃ごみの一時保管というじん芥処理事務であり、本事務は茅ヶ崎市への移行も決まっていることから、事業の方向性については現行どおりとする。
- *ごみ処理問題については、町民の理解を得ることが必要であるという観点から、補足意見の部分に「町民の関心が高いため、費用対効果も含めた丁寧な説明が必要である」という表現を加える。

寒川総合体育館運営管理経費

【評価結果】

- *総合体育館については、すでに指定管理に移っており、かつ概ね良好に維持管理ができているため、事業の方向性については現行どおりとする。
- *指定管理の運営に関する評価という点では、適切にモニタリングを行うことが重要であり、第三者からの評価にこだわる必要がないため、2つ目の◇の後半部分をその旨の表現に変更する。

【その他】

- *指定管理に移行したことで、町のイベント等が実施できないという実状があるか

どうか、次回までに事務局が確認することとする。

私立幼稚園就園奨励費助成事業

【事業の現状・課題】

*「無認可幼児教育施設通園者等」については、見直しの対象として協議していないため、表記を削る。

【評価結果】

*事業の方向性については、高所得者層への補助の見直しが早急に必要という点から、要改善とする。

民生委員・児童委員活動事業費

【事業の現状・課題】

*活動内容・頻度に差が生じている理由が不明であるため、「委員任せのため、差がある」という表記に修正する。

*委員からの報告について、町が活用していないことは明らかであるため、3つ目の◇後半の「どういうふうに活用しているかが不明」を削り、「件数のみで内容の報告がなされていない」という表記に変更する。

【評価結果】

*民生委員・児童委員については、その活動内容・頻度を委員任せにしていたことにより、委員によって差があり、その状況を改善するために町としてのバックアップ体制を早急に確立する必要があることから、事業の方向性については要改善とする。

*2つ目の◇中「数字等」という表記は不適切であるため、「件数等」に訂正する。

*児童委員としての業務があるにもかかわらず、その立場が曖昧であることから、その活動内容などを積極的に公表すべきである旨の表現を加える。

*予算額については、研修実施やマニュアル作成等のバックアップ体制の充実が必要であるが、現行の予算の枠内でその充実を図ることとし、現行とする。

勤労者住宅資金利子補助事業・勤労者福祉事務経費

【事業の現状・課題】

*勤労者住宅資金利子補助事業の最後の◇の市町村数に総数の表記を加える。

【評価結果】

*項目全体の今後の方向性としては廃止が妥当であるが、すでに勤労者住宅資金利子補助を継続して受けている人に対する分を打ち切ることができないため、事業の方向性については、抜本的見直しとする。

*予算額については、限りなくゼロに近づけるという意味から「予算の減額を図りたい」という表記を「予算の大幅な減額を図りたい」という表記に修正する。

○その他

今後の日程等について、次のとおり共通認識を図った。

10月9日まで ヒアリング・協議の概要の未成分と本日の会議で出た意見を反映させたものを、事務局から各委員あてに送付。

10月12日まで 各委員は、修正、訂正等の意見を事務局へ連絡。

	10月16日 第6回会議開催	以上
資料	○平成24年度寒川町外部評価委員会 評価結果報告書(案)	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	吉田 政明	(平成25年5月24日確定)